

台風12号災害

高梁川増水で 避難勧告発令

大型で強い台風12号が9月3日、岡山県を直撃。市はこの日の午前8時に災害対策本部を設置し、対応にあたりました。

9月2日深夜から3日にかけて降った大雨で増水した高梁川を警戒し、総社市では避難勧告を、合計6地区の806世帯2313人を対象に発令しました。

高梁川の水位は、3日午前に急上昇。午前11時に下倉の草田地区と日羽の作原団地に避難勧告を発令し、同時に避難所の開設を行いました。それ以後も4地区に発令。避難所を合計6か所に開設し、3日から4日にかけて501人が避難しました。

この台風により、床下・床上浸水をはじめ、冠水・浸水、土砂崩れなどの被害が出ました。幸いにも人命に関わるような大きな被害はありませんでしたが、町内会や隣近所で災害から身を守る自主防災組織の必要性、避難場所のあり方など防災への備えを今一度考えましょう。



増水した高梁川〔9月3日の午後2時30分ごろ撮影。下倉橋から上流を望む。写真右上部分が昭和小学校付近〕

結成を呼び掛ける説明会を実施中

自主防災組織の結成を

市では、地域の防災体制の強化を図るため、市内各地を巡回して説明会を行い、万一のときに人命を救う力となる自主防災組織の結成を呼び掛けています。

総社市の自主防災組織率は、目標の60％に対し全世帯数比で26.3％（104団体。平成23年8月31日現在）。説明会では、想定される災害や自主防災組織の必要性を説明。住民同士のつながりが最も大切であることから、防災をキーワードに改めて地域で話し合いをもってほしいとお願いしています。結成後は、危険箇所の把握や避難場所の確認などを通じて、普段から防災を意識することに努めてほしいと説明しました。

地域の皆さんと防災に関する情報交換をする機会にもなります。説明会を希望する町内会や自治会などがありましたら、総務課までご連絡ください。

申込先・問い合わせ 総務課 行政係（☎92-8218）



一番手前の高規格救急車が寄贈されたもの



寄贈された高規格救急車の配置式が9月6日、消防署本署で行われた。スマイル保育園の園児約40人も式に参加。模擬搬送や高規格救急車の車内を見学した

全国共済農業協同組合連合会岡山県本部から寄贈された

高規格救急車 本署は3台体制で運用

9月6日、高規格救急車1台を新たに消防署本署に配備し、救急搬送体制を強化。本署は、高規格救急車3台体制になりました。西出張所の1台と合わせ、市全体では4台の高規格救急車を運用します。

この高規格救急車は9月5日、全国共済農業協同組合連合会岡山県本部から市消防本部へ寄贈されたもの。

現在運用しているものと

同様に、患者の心拍数や血圧などを監視できる最新のモニターをはじめ、自動人工呼吸器、階段用ストレッチャーなどを装備。救命処置が行いやすいように室内は広く、搬送される傷病者に配慮し、乗り心地や静音性も高めています。昭和出張所で運用している救急車も、装備は高規格救急車

と同じです。

救命率を高めるためにはマンパワーも必要で、救急救命士を養成し、市消防本部では現在24人がその資格をもっています。このうち気管挿管ができる認定救急救命士は9人、薬剤投与ができる認定救急救命士は22人です。

問い合わせ 消防本部 警防課（☎92-8344）

東日本大震災の被災地への義援金

ありがとうございました

東日本大震災の被災地への義援金は9月5日までに、個人と団体を合わせて4656万4981円をお寄せいただいています。ご協

力いただきました皆さんに厚くお礼申し上げます。

ここでは、義援金にご協力いた

だいた方で、掲載の確認のとれた方を紹介しており、順次掲載していく予定としています。

▼中央一丁目 白神金平・始江
▼総社三丁目 中嶋政信 ▼総社 中尾治 ▼泉 片山一比古
▼小寺 小原榮治 ▼真壁 藤島聖剛 ▼三須 鈴木智 ▼長

良 光畑昌利 ▼日羽 植田充男 ▼岡谷 林美津子、青木範子 ▼宿 高谷二郎 ▼千葉市堀内勝

▼団体 清流まつり実行委員会、（社）日本3B体操協会総社働く婦人の家教室、木かげラーメン、弓月フェスタ実行委員会、

幽玄の会高本稔・堤啓造、泉リハビリグループ、総社製氷、西大町いつわ会、中国地区ハーレーミーティング倉敷大会、総社ロータリークラブ、池田小学校児童会、清水町内会、チャリティコンサート実行委員会

〔敬称略〕